

# 令和4年度 二宮町立二宮西中学校第2回学校運営協議会 議事録(公開版)

記録者:岩田・新井

日時 :令和4年7月8日(金) 15:15～ 16:35

場所 :二宮町立二宮西中学校 会議室

参加者:(委員)秋山俊洋・剣持実枝子・稲葉通隆・齋藤仁・佐藤進・三田哲也・志賀正也

府川陽一・脇一男

(学校)和田智司・新井久美・杉山哉・岩田卓磨

欠席者:(委員)泉直英 (学校)杉渕美香

(敬称略)

1 開会	
2 校長挨拶・二宮町学校運営協議会情報交換会 報告	
	<p>会長は出張で欠席。進行は副会長の校長が行う。コロナ禍だが、修学旅行や体育祭などできる教育活動に取り組んでいる。水泳教室は密になる場面が避けられないので実施せず、水難事故対応を座学で行う。</p> <p>-----</p> <p>体育祭の感想(参加された委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨も心配されたがなんとか進行もスムーズにできていた。色別に分かれて、一生懸命やっていた。特に3年生が下級生をリードして和気あいあいと実施していた。</li> <li>・午前中観戦。コロナの影響で行事が制限される中、子どもたちが一生懸命チーム一丸となって取り組んでいた。感動した。去年よりも感動が大きかった。子どもたちも、先生方も素晴らしい。子どもたちが先生方を信頼している様子が伝わってきた。</li> <li>・去年に比べて、競技数が増え、時間も増え、校長先生はじめ先生方の知恵が詰まった体育祭であった。元通りには戻っていない、コロナ禍ではあるが取り組んでいる。来年度のPTA組織改編に向けて、ボランティアを募集した。たくさんの方ではなかったが数人でも手伝ってくれたのがありがたかった。カメラが得意そうな方などに力を発揮してもらった。子どもたちの安心安全のために、できる協力をしていきたい。</li> </ul> <p>-----</p> <p>二宮町学校運営協議会情報交換会の概要(参考資料1・2)について。</p>
委員 校長 教頭	<p>来年度から小中一貫が分離型で実施される。この学校運営協議会はどうなるのか？</p> <p>現段階ではまだ今後も継続する。また継続して話し合っていく。</p> <p>中学校区域で実施すると地区長さんが網羅できればいいというアイデアもある。</p>
3 協議	
(1)学校運営について熟議	
事務局	資料3 防災講演会について
校長	<p>森本晋也先生を講師に9月22日に講演をお願いしている。</p> <p>どのような講演会になるとよいか。ご意見を。</p>
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮の土地・地盤・地形にあった内容を。</li> <li>・企業ではこれまで地震の話が多かったが富士山噴火の話も増えているので参考まで。</li> <li>・不安をおおるような内容ではなく、中学生が「自分ならこれができる」とポジティブに考えられる内容がよい。</li> <li>・黄色いタオルの安否確認や総合防災訓練など二宮の取組の価値づけ。</li> <li>・講演会は参加できる人が限られてしまう。オンラインやアーカイブの配信をぜひ。</li> </ul>

校長	たくさんのご意見に感謝。日程、講師は決定している。ご都合のつく範囲でご参加を。
	資料4 秋麗祭について
教頭	今年度は3年ぶりに合唱を計画。感染対策を講じながらの実施。体育館での参観は生徒だけに。ただし、保護者にはGoogleクラスルームで配信を、切り絵に関してはナイトギャラリーという形で公開を検討。
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信はよい方法だが、リアルタイムだけでなく後日配信も。 →SNSへの投稿禁止などをお願いを講じて検討していく</li> <li>・せっかくの合唱ならばマスクを外して歌わせてあげたい。表情も大切な表現。</li> <li>・マスクを着用して歌うのは大変なのではないか</li> <li>・フェイスシールドなどは活用できないか</li> <li>・2メートル離れれば外してよい、という指針もあるが会話、合唱は別だろう。</li> <li>・修学旅行は制約がある中ではあるが実施できた。子どもたち、保護者から見ると大変ありがたかった。いろいろな考え、ご意見がある中で、配慮して実施していただきたい。マスクを外すのは時期尚早ではないか。</li> <li>・なぜマスクありでも合唱を実施したいのか学校がきちんと説明できればよい。</li> <li>・マスクを外して記念写真を撮るなど、方法はあるだろう。</li> </ul>
校長	マスクに対する考え方はさまざま。安全を第一に考えたいことをしていきたい。たくさんのご意見ありがとうございました。
(2)学校運営協議会事業について	
教頭	資料5をもとに説明。現在、3地区から回答。どの地区も「顔の見える関係の構築」を願っている。
斎藤	子どもたちが個人で動くのではなく、地域として動く。日頃から防災活動に入って地域と活動する場所を、大人が提供していけるようになると「顔の見える関係」になっていくだろう。
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが防災活動に関わることで「顔の見える関係」になっていくだろう。</li> <li>・学校運営協議会長とPTA会長、学校が連名で通知を出したことが評価できる。</li> <li>・PTA活動と地域活動が少しずつ繋がることで生徒に生きる力が育まれていくだろう。</li> <li>・予算を講演会で使うのではなく、参加者に還元・助成するような用途にするとよいだろう。地域は時間的に講演会に参加は難しい。こういうものに予算を活用してほしい。</li> <li>・町からも地域活動資金は出ている。地域が衰退しないように参加を促したい。</li> <li>・できる人ができることに参加できる仕組みにしたい。</li> <li>・地域だけでなく、社会科見学的に消防団の出初式、定期訓練などを中学生に公開するのもよいだろう。</li> <li>・校舎の入り口にAEDがあるが生徒は使い方を知っているのか。 →以前は消防署に実習に行っていた。コロナで実施がなくなったが消防署からダミー人形を借りて実習を行っている。</li> </ul>
校長	たくさんのご意見に感謝。回答が全て集まったら改めて集約し検討する。
4 閉会	
校長	次回は12月6日(火)を予定。「かながわアスリートネットワーク協働事業」による講演会を年度末に企画。具志堅幸司氏を講師招へい。 16時35分 閉会